

令和三年度 奈良金春会演能会

令和三年六月二十七日(日) 午後十二時半はじめ

奈良春日野国際フォーラム薨
(旧称 奈良県新公会堂)

能楽ホール
奈良市春日野町一〇一番地
電話(〇七四二)二七一二六三〇(代)

能のお話

金春康之

仕舞

天花

鼓 篋
クセ

湯本哲明
酒井賢一

能放下僧

〜休

憩

二十分

〜

シ テ(真木野小次郎の兄) 金春飛翔
ツ レ(真木野小次郎) 金春嘉織
ワ キ(刀 祢 信 俊) 原 陸
ア イ(信俊の従者) 島田洋海
笛 左 鴻 雅 義
小 鼓 荒 木 建 作
大 鼓 山 本 寿 弥

狂言 舎弟

仕舞

加 鶉

茂 飼
キリ

金春穂高
金春康之

シ テ(弟) 茂山宗彦
ア ド(教 え 手) 丸石やすし
ア ド(兄) 茂山あきら

能舎利

シ テ(前・里 後・足 疾 人 鬼 天) 高橋 忍
ツ レ(韋 駄 天) 井上 貴 覚
ワ キ(旅 僧) 原 大
ア イ(舎利を守る僧) 増田 浩 紀

笛 小 鼓 赤 井 要 佑
大 鼓 荒 木 建 作
太 鼓 守 家 由 訓
中 田 弘 美

付祝言

(終了予定 午後四時頃)



放下僧 (ほうかぞう)

解説 中司 由起子

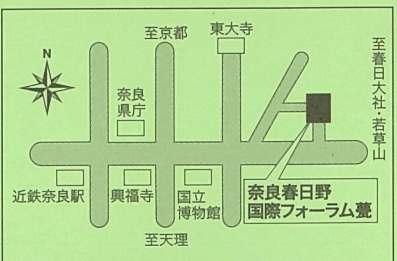
刀祢の信俊に父を殺された真木野の小次郎(ツレ)が、出家した兄(シテ)を説得し、敵討ちの計画をたてる。小次郎は放下(大道芸能者)、兄は放下僧(僧形の大道芸能者)に身をやつして信俊に近づこうとする。一方、信俊(ワキ)は従者(アイ)を連れて瀬戸の三島神社へ参詣に向かう。道中、兄弟は信俊と対面し、禅問答を披露する。曲舞・羯鼓の舞・小歌など様々な芸を見せ、芸にみとれ油断した信俊を斬りつけて本望を遂げる。次々に繰りひろげられる放下の芸が見どころ。最後の小歌は、「揉まれる」物尽くしの内容です。

舍利 (しやり)

出雲国美保の関の僧(ワキ)が都の泉涌寺を訪れ、舍利を守る僧(アイ)に頼んで、舍利(釈迦の遺骨)を拜ませてもらおう。深夜、怪しい男(前シテ)が現れ、二人は一緒に舍利を拜むが、男の様子が急に変わる。男は、自分は足疾鬼の執心で、舍利を再び盗みに現れたと明かし、舍利殿に飛び上がる。そして、舍利を奪い取ると、天井を蹴破って消え失せた。舍利を守る僧は、釈迦が亡くなった時に足疾鬼という足の速い鬼が舍利を盗んだ物語を語る。僧と舍利を守る僧が韋駄天に祈ると、韋駄天が出現。韋駄天は足疾鬼を呼び留めるが、足疾鬼は逃げ出す。追い詰められた足疾鬼は舍利を差し出し、弱り果てて消え失せた。舍利は炎の飾りの付いた珠で表され、足疾鬼が舍利を奪い取る場面では、舍利台を使った印象的な演技があります。一畳台は前半では祭壇や舍利殿、韋駄天と足疾鬼の攻防では天上世界というように、場面によって役割を変えます。

次回予告

七月 十八日(日)	奈良金春会連合謡曲仕舞会	能 融	高 橋 忍
九月 十九日(日)	午後十二時半	能 藤 戸	中 田 能 光
十一月二十八日(日)	午後十二時半	能 藤 戸	金 春 安 明



- ◎鑑賞券(学生券を除く)は、奈良春日野国際フォーラム薨でも取り扱います。
- ◎五枚綴回数券 二〇、〇〇〇円
- ◎一般一回券 五、〇〇〇円
- ◎学生一回券 二、五〇〇円

奈良春日野国際フォーラム薨 能楽ホール
電話(〇七四二)二七二六三〇代

- ・近鉄「奈良駅」から奈良交通バス市内循環「大仏前」下車 東へすぐ
- ・近鉄「奈良駅」から徒歩二〇分

主催 奈良金春会
後援 奈良良春会
奈良市教育委員会
(公社)金春円満井会

お問合せ電話
(〇七四二)三三一九七二〇 金春

- ◎奈良県新公会堂は、平成二十七年から、奈良春日野国際フォーラム薨に改称されました。
- ◎特別に許可された人以外の 写真撮影・録音・録画は お断りします。
- ◎携帯電話は電源をお切り下さい。また会話・飲食など 他のお客様の迷惑になるような行為は御遠慮下さい。
- ◎奈良春日野国際フォーラム薨の駐車場は 現在一般の方の車の受け入れをしております。
- ◎車でお越しの方は 他所に駐車場をお求めいただくこととなります。
- ◎満席の場合など 当日会場では入場券を発売しない事があります。又 入場制限する事もあります。
- ◎都合により、演者、曲目が変更される場合があります。
- ◎新型コロナウイルス感染症対策として

●ご来場されましたら必ずマスクを着用し、アルコール消毒の後、受付で記帳をお願いいたします。
(万が一の場合の追跡調査用としてのみ使用いたします。)

●入場時発熱状態の方は、入場をご遠慮いただきます。
●会場の定員は五〇〇名ですが、新型コロナウイルス感染症対策として座席数に制限をかける場合があります。